

**平成12年鳥取県西部地震による
水道被害とその影響調査**

平成13年5月

鳥取大学工学部

細井由彦

は し が き

平成12年10月6日に鳥取県西伯町を震源とする鳥取県西部地震が発生した。幸い死者はなかったものの被害は家屋や公共建物、道路、港湾、鉄道など多岐にわたっている。水道においても米子市を中心に施設被害が発生し、また簡易水道給水区域では水源の濁りが多数発生した。本報告書は水道の被害とその住民に対する影響について、公表されている資料とアンケート調査を中心にとりまとめたものである。これより5年前に発生した阪神淡路大震災時のような都市を中心とした被害とはまた異なった状況が発生しており、地域特性に応じた地震対策を考える上での参考となることも多いと考えられる。

平成13年5月

鳥取大学工学部 細井由彦

目 次

は し が き

1. 鳥取県西部地震と被害の概要	1
2. 水道の被害状況	3
3. 水道被害の影響が大きかった事業体の状況	9
(1) 米子市	9
(2) 会見町	11
4. 水道に影響があった地域に対するアンケート調査	18
5. アンケートの結果の概要	22
6. 応急給水の状況と水運搬の負担感	34
7. 水道が使えないための生活支障	38
8. あとがき	40

資 料

一 覧 表	41
自 由 意 見	53

1. 鳥取県西部地震と被害の概要

鳥取県西部地震は平成12年10月6日午後1時30分に発生した。震源地は西伯町、震源の深さは約10kmで、地震の規模を示すマグニチュードは7.3であった。表1.1に示すように余震も数多く発生している。

被害が大きかったのは震源地に近い日野町、西伯町と地盤が軟弱であったり液状化の発生した境港市、米子市である。平成13年4月27日現在の鳥取県による被害状況は、人的被害として負傷者141名、死者は無かった。住家の被害は全壊389棟、半壊2467棟、一部破損12912棟である。非住家として公共建物は全面移転をすることとなった溝口町役場など124棟、その他1836棟となっている。境港市のカニカゴ岸壁など港湾施設の91カ所で物的被害が発生した。高速道路では米子自動車道、山陰自動車道で地震翌日の7日午前中まで全面通行止めとなった。国道、県道の182カ所で全面

表1.1 地震当日から10月22日までの米子における余震回数（震度1以上本震を含む）

月 日	震度別余震回数					合計
	1	2	3	4	5弱 5強	
10月6日	77	24	8		1	110
7日	47	21	3	1		72
8日	35	12	1	1		49
9日	21	6				27
10日	12	7	1	1		21
11日	10	3	2			15
12日	3	6				9
13日	7	4	1			12
14日	8	1				9
15日	3	2				5
16日	5					5
17日	9	1				10
18日	5	1				6
19日	7		1			8
20日	2	1				3
21日	4	2				6
22日	3	1				4
合計	258	92	17	3	1	371



図1.1 鳥取県西部地震で被害が発生した西部地区の市町村図

表1.2 鳥取県西部地震において水道被害の生じた主な市町村

	人 口	世帯数	面積 (km ²)	震度	負傷者			住家被害			非住家被害	
					重傷	軽傷	合計	全壊	半壊	一部破損	公共	その他
米子市	140,272	53,704	105.7	5強	8	8	16	101	1,071	5,002	3	314
境港市	37,794	13,754	28.7	6強	11	75	86	71	281	1,129	-	415
西伯町	8,256	2,466	83.1	6弱	2	5	7	40	392	1,206	2	174
会見町	4,161	1,145	31.0	6弱	2	1	3	2	43	879	1	70
岸本町	7,424	2,050	40.0	6弱	-	-	-	-	10	1,097	12	67
日吉津村	3,020	822	4.1	6弱	-	-	-	1	12	173	9	8
淀江町	9,363	2,870	25.7	6弱	1	-	1	-	-	345	-	-
大山町	7,063	1,890	84.5	5弱	2	1	3	-	1	100	-	6
日南町	7,142	2,423	340.9	6弱	0	2	2	-	12	368	16	63
日野町	4,706	1,592	134.0	6強	4	11	15	129	441	945	15	506
江府町	4,164	1,211	124.7	6弱	-	2	2	-	1	847	43	-
溝口町	5,505	1,521	100.4	6弱	1	3	4	45	202	740	22	212

(平成13年3月末現在 鳥取県)

あるいは片側通行止めとなった。JRでは伯備線の日野町根雨～黒坂の間を中心として落石や線路、ケーブル被害が発生し、伯備線は10月10日に復旧するまで不通となった。さらに余震と大雨のため10月28日に土砂崩れが発生して再び不通となり11月17日に復旧した。

水道以外のライフラインでは中国電力の旭発電所、黒坂発電所が停止し、鳥取県では日野郡（溝口町、江府町、日野町、日南町）を中心に9277戸で、中国電力管内では計約17000戸で停電が発生したが、地震発生後の2時間後には全て復旧した。

被害の発生した市町村の中で水道に影響があった市町村の負傷者や建物の被害の概要をまとめたものが表1.2である。またこれらの市町村の位置を図1.1に示す。

2. 水道の被害状況

鳥取県西部地震による水道の主な被害の状況を表2.1に示す。上水道事業は米子市、境港市、日吉津村に給水している米子市で行われている。その他の町では西伯町、岸本町、淀江町、大山町で上水道と簡易水道があり、他の町は簡易水道と飲料水供給施設がある。

米子市上水道管内では富益団地の中の窪地を埋め立てて造成された地区と、中海を埋め立てて造成された安部彦名団地、美保湾を埋め立てた竹ノ内工業団地などにおいて、配水管や給水管の被害が多く発生し断水が発生した。会見町では町内のほとんどの給水している会見簡易水道の取水源に濁りが発生した。そのために補助水源から仮設の送水管を設置して給水を行ったが、町内のほぼ全域で約1週間断水した。

その他はほとんどの町村で地震後1～2日で復旧したが、日野町や溝口町の一部で復旧が長引いた。簡易水道給水地域における影響のほとんどは、水源に濁りが発生したことが原因である。

表2.2 応急給水対象世帯

	10月 6日 最大	7日 21:00	8日 18:00	9日 18:00	10日 18:00	11日 16:00	12日 16:00	13日 16:00	14日 16:00	15日 16:00	16日 16:00	17日 16:00
米子市	80	80										
西伯町	2371	380				29	9	28	6	6	6	6
会見町	1120	1120	1100	1100	1100	1100	1100					
岸本町	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21		
淀江町	93											
大山町	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
日南町	404				14							
日野町	1029	300	190	190	165	135	135					
江府町	529											
溝口町	117	30	30	30	30	30	52	52	52	52	52	
東郷町	1											
合計	5793	1959	1369	1369	1358	1343	1345	129	107	107	86	6

(鳥取県生活環境部)

表2.3 断水世帯の経日変化

	10月 6日 最大	7日 21:00	8日 18:00	9日 18:00	10日 18:00	11日 16:00	12日 16:00	13日 16:00	14日 16:00	15日 16:00	16日 16:00	17日 16:00
米子市	80	80										
西伯町	2371	380				29	9	28	6	6	6	6
会見町	1120											
淀江町	93											
日南町	404											
日野町	1029	300	190	190	165							
江府町	529											
溝口町	117	30	30									
東郷町	1											
合計	5744	790	220	190	165	29	9	28	6	6	6	6

(鳥取県生活環境部)

表2.1 鳥取県西部地震によるおもな水道被害の概要

被害事業体		給水人口	被害状況	影響戸数	影響人口	復旧状況
米子市	米子市上水道	138869	道路上管破損164カ所,宅内管破損447カ所破損	80	240	8日に断水は復旧
境港市	米子市上水道	36437	道路上管破損76カ所破損,宅内管破損122カ所破損	0	0	断水なし.工業団地内12日に復旧
日吉津村	米子市上水道	3020	道路上管破損3カ所破損,宅内管破損4カ所破損	0	0	断水なし. 8日に復旧
西伯町	西伯町上水道	7159	送水管2カ所,配水管10カ所,給水装置32カ所破損	2086	7200	断水7日に復旧. 余震分9日に復旧
	東上簡易水道	166	配水管3カ所,給水管3カ所破損	62	185	断水7日に復旧.11日から再度一部断水し17日に復旧
	馬佐良簡易水道	81	電気関係	28	82	断水7日に復旧
	東長田簡易水道	214	配水管3カ所破損	72	215	断水7日に復旧
	上長田簡易水道	152	配水管1カ所破損,給水装置3カ所破損	55	163	断水8日に復旧.一部断水発生し11日に復旧.一部断水発生し13日に復旧
	八金簡易水道	116	配水管1カ所破損	39	116	断水7日に復旧
	入蔵簡易水道	85	配水管1カ所破損	29	86	断水7日に復旧
会見町	会見簡易水道	3977	配水管4カ所破損,給水装置73カ所破損,水源の濁り20日まで	1100	3898	断水解除後も濁りのために飲料用不可.別水源から仮設送水管で送水し13日に復旧
	池野鶴田簡易水道	175	配水管2カ所破損,給水装置3カ所破損,水源の濁り20日まで	20	146	予備水源を利用し13日に復旧
岸本町	岸本町上水道	5121	配水管1カ所破損,水源枯渇1カ所	0	0	
	小野飲料水供給施設		水源の濁り15日まで	21	64	飲料用使用不可が16日に復旧
淀江町	淀江町上水道	8373	導水管1カ所,配水管1カ所,給水装置16カ所破損	0	0	
	本宮西尾原簡易水道	282	水源の濁り15日まで	93	280	断水7日に復旧
大山町	飯戸簡易水道	102	水源の濁り	28	102	飲料用不可が17日に復旧
日南町	中石見簡易水道	224	配水管1カ所破損	60	182	断水6日中に復旧
	石見簡易水道	651	配水管1カ所破損	230	706	断水6日中に復旧
	福栄簡易水道	309	配水管1カ所破損	100	300	断水6日中に復旧
	猪子原簡易水道	35	水源の濁り9日まで	14	31	断水解除後飲料用不可,11日復旧

表2.1 (続) 鳥取県西部地震によるおもな水道被害の概要

被害事業体		給水人口	被害状況	影響戸数	影響人口	復旧状況
日野町	根雨簡易水道	1487	配水管3カ所, 給水装置26カ所破損	505	1516	断水8日に復旧
	下榎簡易水道	431	水源の濁り, 導水管1カ所, 配水管2カ所, 給水装置25カ所破損	135	434	断水15日に復旧
	下黒坂簡易水道	95	配水管3カ所, 給水装置10カ所破損	30	98	断水10日に復旧
	安原簡易水道	75	配水管1カ所, 給水装置6カ所破損	17	76	断水8日に復旧
	黒坂簡易水道	940	配水管1カ所, 給水装置22カ所破損	317	950	断水8日に復旧
	上菅簡易水道	71	送水管1カ所, 配水管4カ所, 給水装置1カ所破損	25	73	断水10日に復旧
江府町	江尾簡易水道	1512	配水管破損	245	735	断水7日に復旧
	川筋簡易水道	679	水源の濁り, 配水管1カ所, 給水装置31カ所破損	236	707	断水7日に復旧
	柿原簡易水道	135	配水管1カ所破損	48	142	断水7日に復旧
溝口町	溝口簡易水道	1883	送水管1カ所, 配水管4カ所, 給水装置12カ所破損	35	100	断水は6日中に復旧
	二部簡易水道	273	配水管2カ所, 給水装置4カ所破損	30	297	断水7日に復旧
	大内簡易水道	95	水源の濁り, 枯渇	30	92	断水解除後飲料用使用不可16日に復旧
	根雨原飲料水供給施設		水源の濁り, 枯渇	22	86	断水解除後飲料用使用不可16日に復旧
東郷町	東郷町上水道	6333	給水管1カ所破損	1	4	12日に復旧

(鳥取県生活環境部)

表2.2には応急給水の対象世帯数の変化を示す。その内訳として断水世帯数を表2.3に、濁水の発生世帯数を表2.4に示す。

応急給水の対応状況を表2.5に示す。鳥取県内からは鳥取市をはじめとする19市町村、県外からは9水道局と自衛隊、建設省中国地方建設局が応援を行った。

表2.6は水道施設被害の災害復旧費として認められたものを示している。

表2.4 濁り水世帯

	10月6日最大	7日21:00	8日18:00	9日18:00	10日18:00	11日16:00	12日16:00	13日16:00	14日16:00	15日16:00	16日16:00
会見町		1120	1100	1100	1100	1100	1100				
岸本町	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
大山町	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
日南町					14						
日野町						135	135				
溝口町				30	30	30	52	52	52	52	52
合計	49	1169	1149	1179	1193	1314	1336	101	101	101	80

(鳥取県生活環境部)

表2.5 応急給水の対応状況 (1)

10月6日

被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数
米子市	佐治村	給水タンク	500 ×	2
	東郷町	給水タンク	700 ×	1
		給水タンク	500 ×	1
	関金町	給水タンク	200 ×	9
	大柴町	給水タンク	300 ×	5
	松江市水道局	給水車	2,000 ×	1
	岡山市水道局	給水車	2,000 ×	1
		給水タンク	1,000 ×	1
		ポリ袋	10 ×	800
		水の缶詰	0.2 ×	810
	光市水道局	給水車	1,000 ×	2
岩国市水道局	ポリ容器	20 ×	50	
境港市	北条町	給水タンク	500 ×	3
	大山町	給水タンク	1,000 ×	1
	倉敷市水道局	給水車	2,000 ×	1
	防府市水道局	給水車	2,000 ×	1
西伯町	自衛隊	給水車	1,000 ×	6
		給水車	2,000 ×	2
	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2
		ポリ容器	20 ×	210
	福部村	給水タンク	400 ×	2
		ポリ容器	20 ×	20
	青谷町	給水タンク	500 ×	1
		ポリ容器	20 ×	16
	羽合町	給水タンク	500 ×	1
		ポリ容器	20 ×	44
	三朝町	給水タンク	1,500 ×	1
		ポリ容器	20 ×	62
	東伯町	給水タンク	500 ×	2
		給水タンク	200 ×	1
名和町	給水タンク	500 ×	2	
	給水タンク	800 ×	2	
中山町	倉吉市水道局	給水タンク	1,000 ×	1
		ポリ容器	20 ×	78
		ポリ袋	10 ×	2,000
広島市水道局	給水車	2,000 ×	1	
	ポリ容器	20 ×	100	
	ポリ袋	10 ×	2,000	
日野町	国府町	給水タンク	500 ×	1
		ポリ容器	20 ×	4
	岩美町	給水タンク	1,000 ×	8
	船岡町	給水タンク	1,000 ×	1
		給水タンク	500 ×	1
	泊村	給水タンク	500 ×	3
		給水車	2,000 ×	1
	小野田市水道局	給水車	2,000 ×	1
		給水車	1,500 ×	1
	下関市水道局	給水車	2,000 ×	1
給水車		1,500 ×	1	
給水車		1,500 ×	1	
溝口町	倉吉市水道局	給水タンク	1,000 ×	1
		ポリ容器	20 ×	78
	北条町	給水タンク	500 ×	3
大柴町	給水タンク	300 ×	5	
合計	95,942 リットル			

10月7日

被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
米子市	佐治村	給水タンク	500 ×	2	
	東郷町	給水タンク	700 ×	1	
		給水タンク	500 ×	1	
	関金町	給水タンク	200 ×	9	
	松江市水道局	給水車	2,000 ×	1	
	岡山市水道局	給水車	2,000 ×	1	
		給水タンク	1,000 ×	1	
		ポリ袋	10 ×	800	
		水の缶詰	0.2 ×	810	
	光市水道局	給水車	1,000 ×	2	
	岩国市水道局	ポリ容器	20 ×	50	
境港市	大山町	給水タンク	1,000 ×	1	
	倉敷市水道局	給水車	2,000 ×	1	
	防府市水道局	給水車	2,000 ×	1	
	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	
西伯町	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	210	
	福部村	給水タンク	400 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	20	
	青谷町	給水タンク	500 ×	1	
		ポリ容器	20 ×	16	
	羽合町	給水タンク	500 ×	1	
		ポリ容器	20 ×	44	
	三朝町	給水タンク	1,500 ×	1	
		ポリ容器	20 ×	62	
	東伯町	給水タンク	500 ×	2	
		給水タンク	200 ×	1	
	名和町	給水タンク	500 ×	2	
		給水タンク	800 ×	2	
中山町	広島市水道局	給水車	2,000 ×	1	
		ポリ容器	20 ×	100	
		ポリ袋	10 ×	2,000	
自衛隊	給水車	1,000	6		
	日野町	国府町	給水タンク	500 ×	1
		ポリ容器	20 ×	4	
岩美町	給水タンク	1,000 ×	8		
	船岡町	給水タンク	1,000 ×	1	
給水タンク		500 ×	1		
泊村	給水タンク	500 ×	3		
	給水車	2,000 ×	1		
小野田市水道局	給水車	2,000 ×	1		
	給水車	1,500 ×	1		
下関市水道局	給水車	2,000 ×	1		
	給水車	1,500 ×	1		
	給水車	1,500 ×	1		
溝口町	倉吉市水道局	給水タンク	1,000 ×	1	
		ポリ容器	20 ×	78	
	北条町	給水タンク	500 ×	3	
大柴町	給水タンク	300 ×	5		
合計	100,442 リットル				

県内市町村 : 19 市町村
 県外(9 水道局) : 島根県(松江市水道局)
 岡山県(岡山市水道局・倉敷市水道局)
 広島県(広島市水道局)
 山口県(光市水道局・岩国市水道局・防府市水道局・小野田市水道局・下関市水道局)
 自衛隊
 中国地方建設局

表2.5 応急給水の対応状況 (2)

10月8日					10月12日					
被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
会見町	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2	会見町	米子市水道局	給水タンク	1,000 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	210			自衛隊	給水車	1,000 ×	4
	米子市水道局	給水車	2,000 ×	1		中国地方建設局	給水車	6,000 ×	5	
	広島市水道局	給水車	2,000 ×	1	日野町					自衛隊
	日野町	自衛隊	ポリ容器	20 ×	100	合計	42,000 リットル			
			ポリ袋	10 ×	2,000		10月13日			
自衛隊		給水車	1,000 ×	6	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
小野田市水道局		給水車	2,000 ×	1	会見町	米子市水道局	給水タンク	1,000 ×	2	
					下関市水道局					給水車
自衛隊		給水車	1,500 ×	1	合計	10,000 リットル				
自衛隊	給水車	1,000 ×	6	10月14日						
合計					51,700 リットル					
10月9日					10月14日					
被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
会見町	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2	日野町	米子市水道局	給水タンク	1,000 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	210			岸本町	給水タンク	1,200 ×	1
	米子市水道局	給水車	2,000 ×	1		自衛隊	給水車	1,000 ×	2	
	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	合計	5,200 リットル				
						中国地方建設局	給水車	6,000 ×	5	10月15日
	日野町	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数
合計					54,200 リットル					
10月10日					10月15日					
被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
会見町	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2	日野町	米子市水道局	給水タンク	1,000 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	210			岸本町	給水タンク	1,200 ×	1
	米子市水道局	給水車	2,000 ×	1		自衛隊	給水車	1,000 ×	2	
	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	合計	5,200 リットル				
						中国地方建設局	給水車	6,000 ×	5	10月16日
	日野町	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数
合計					54,200 リットル					
10月11日					10月16日					
被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	被災市町村名	応援を実施した機関	給水用具	リットル	個数	
会見町	鳥取市水道局	給水車	2,000 ×	2	日野町	米子市水道局	給水タンク	1,000 ×	2	
		ポリ容器	20 ×	210						合計
	米子市水道局	給水車	2,000 ×	1	総合計					
	自衛隊	給水車	1,000 ×	6	475,084 トン					
					中国地方建設局	給水車	6,000 ×	5		
	日野町	自衛隊	給水車	1,000 ×	6					
合計					54,200 リットル					

表2.6 鳥取県西部地震に係る水道施設災害復旧費

事業主体名	上水道又は簡易水道区分	被害額（千円）
米子市	米子市上水道	130,450
西伯町	西伯町上水道	1,648
	東上簡易水道	2,999
会見町	会見簡易水道	1,751
日野町	上菅簡易水道	1,586
	下黒坂簡易水道	1,461
	下榎簡易水道	4,573
	根雨簡易水道	2,889
溝口町	大内簡易水道	1,887
	根雨原飲料水供給施設	41,867
合 計		191,111

（鳥取県生活環境部）

配水区および配管図

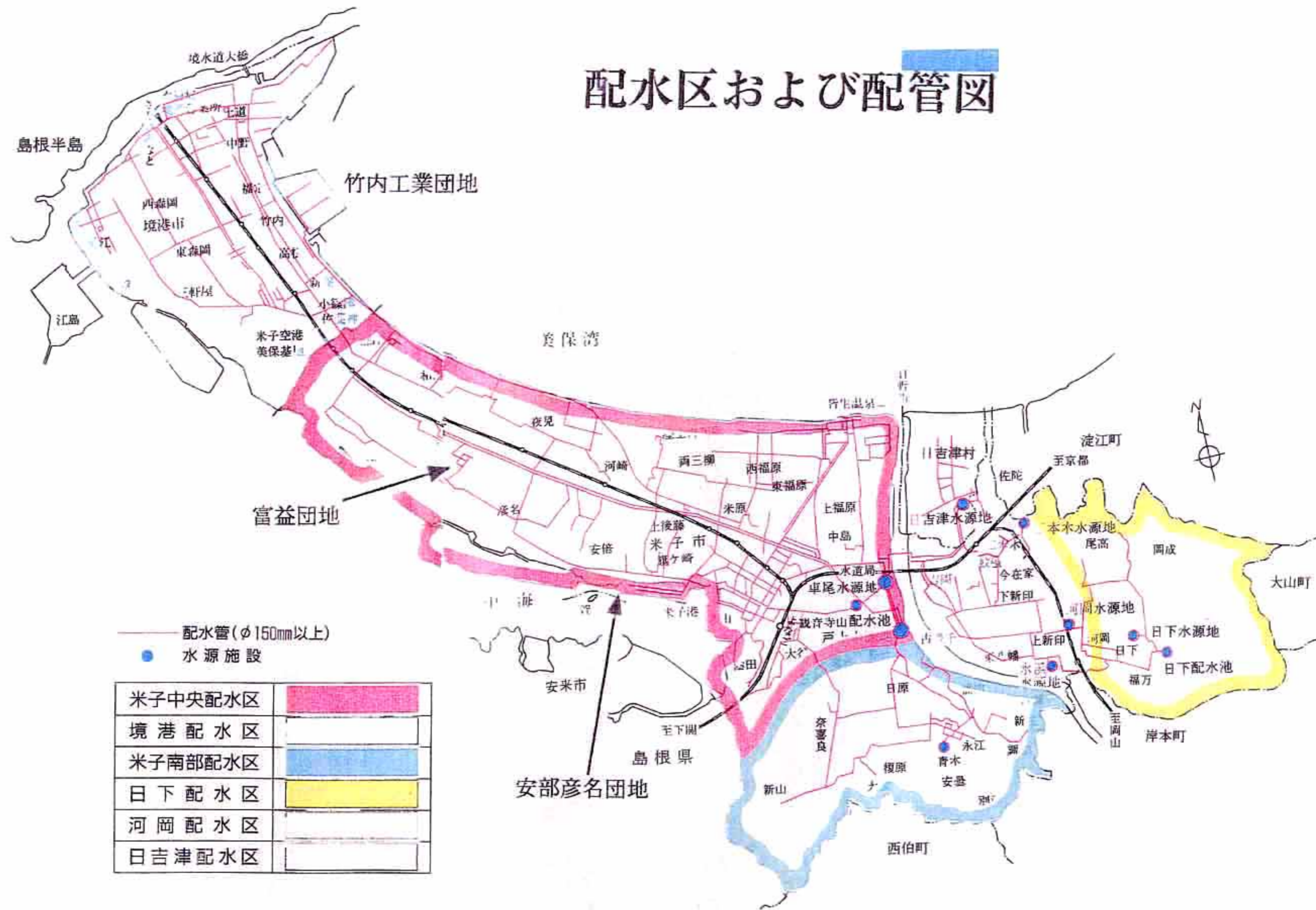


図3.1 米子市上水道の配水区域

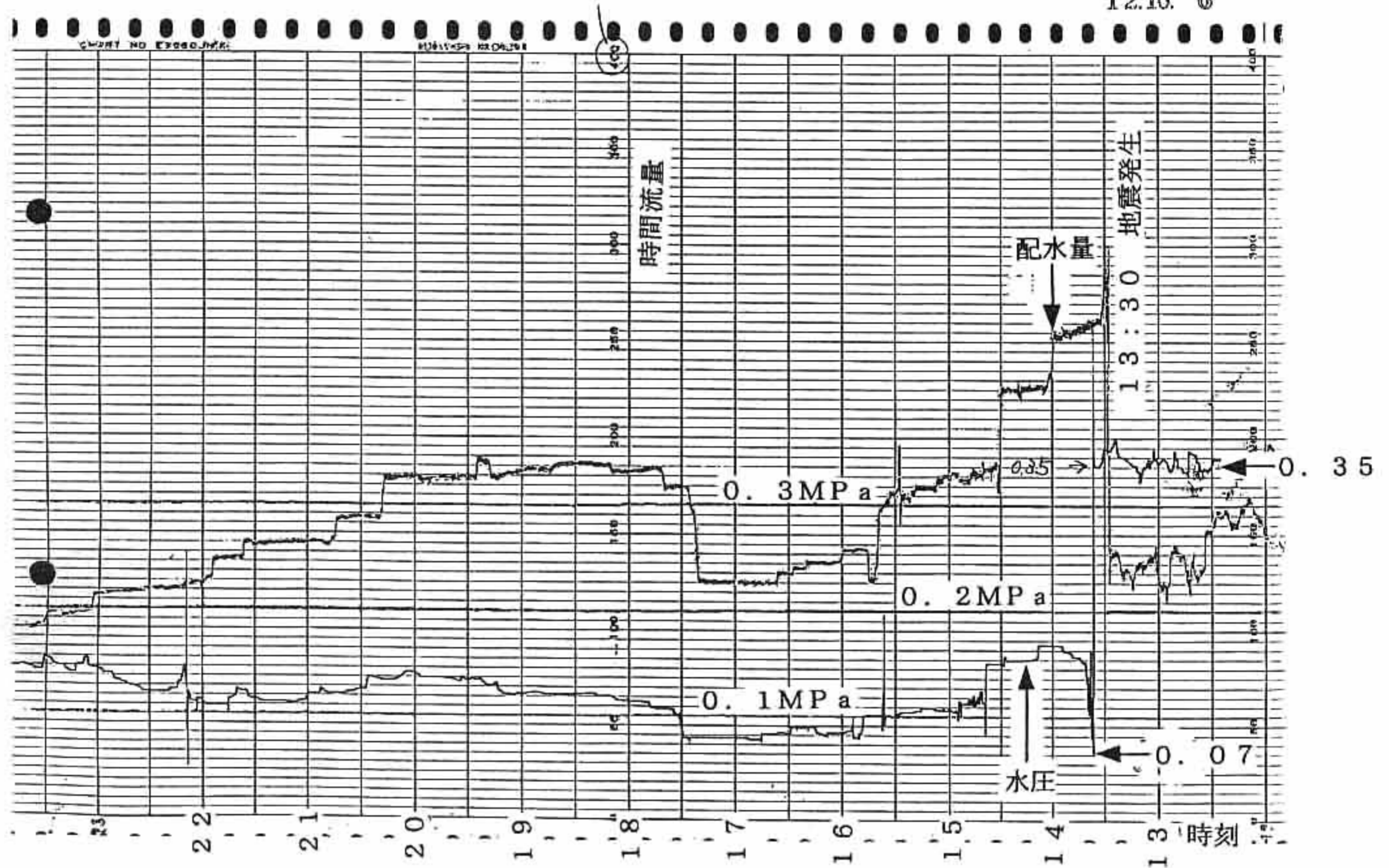


図3.2 地震直後の車尾水源池による配水量と配水圧の変化

全域で断水が発生した。これらの位置は図3.1中に示されている。竹ノ内工業団地に入る配水管の被害の状況を写真3.1に示す。下側の写真には仮設された配水管が破損した配水管の下に写っている。

図3.4は富益団地を示している。図中の斜線で示された限られた区域に被害が集中した。この区域は以前窪地であったところが埋め立てられて造成された。地震の発生した10月6日の夕方には図中の①で示した七区集会所において応急給水が行われた、翌日以降は図中の②と③の地点において、消火栓による仮設給水栓で応急給水が実施された。

図3.5に安部彦名団地を示す。団地の北西部に県営と市営の集合住宅があり、その他は戸建て住宅である。この地域は中海の埋め立て地である。図中の県営団地62-1号棟で給水設備、排水設備の被害が大きく断水した。また戸建て住宅においては家屋の傾きや損壊が発生し断水も発生した。図中の①において消火栓を使って仮設給水栓を設置して応急給水が行われた。

なお富益団地、安部彦名団地においては給水が行われても家屋の損壊や排水系統の被害のために水が使用できない世帯も存在した。

(2) 会見町

会見町は今回の地震では町内の全域で断水が発生した唯一の事業体である。会見町には会見と池野鶴田の2つの簡易水道があるが、全体の96%は会見簡易水道が受け持っている。会見簡易水道の1日平均給水量は約 1500m^3 で1人当たりになると約380Lとなっている。通常は図3.6の地

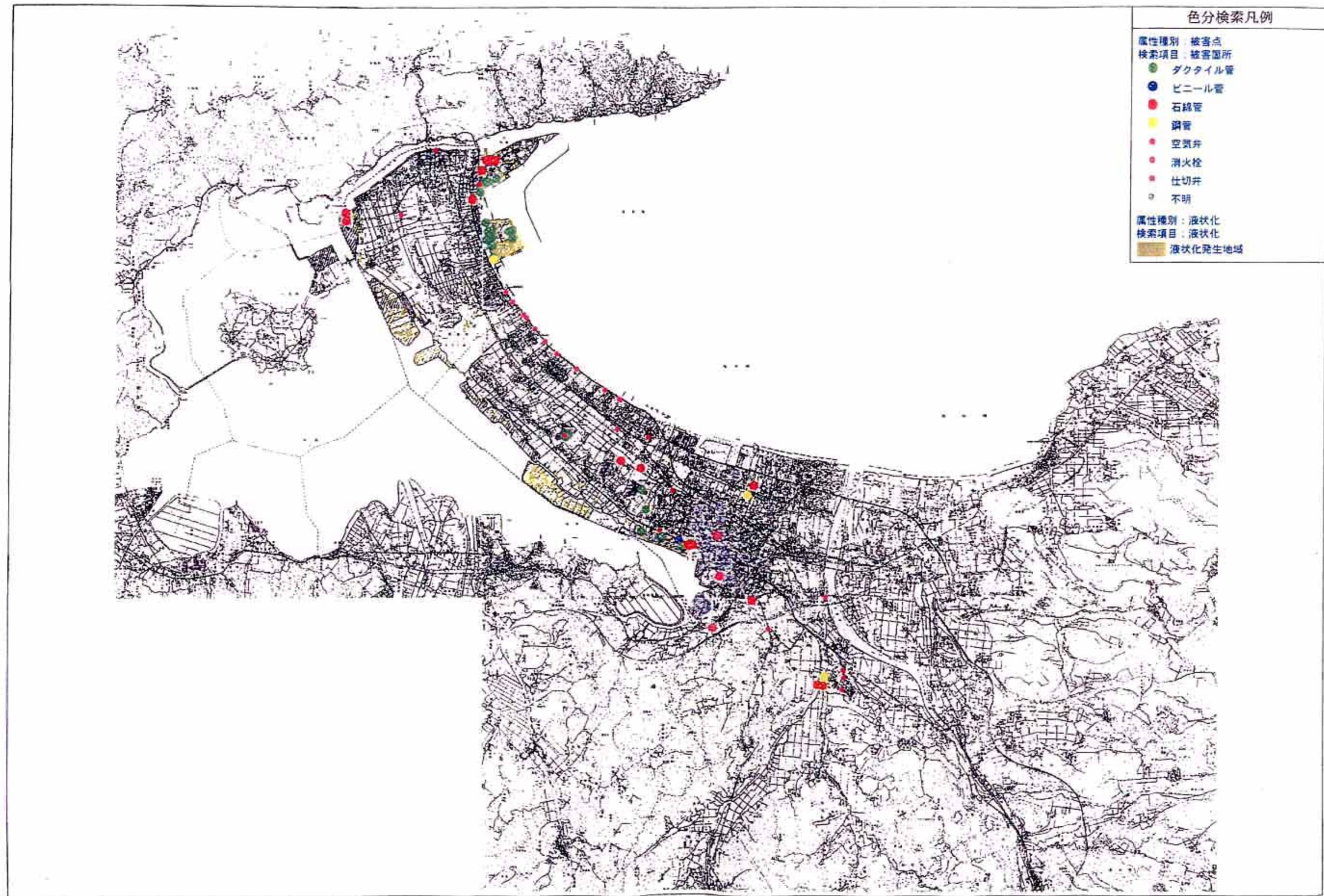


図3.3 米子市上水道の配水管被害 (75mm以上)

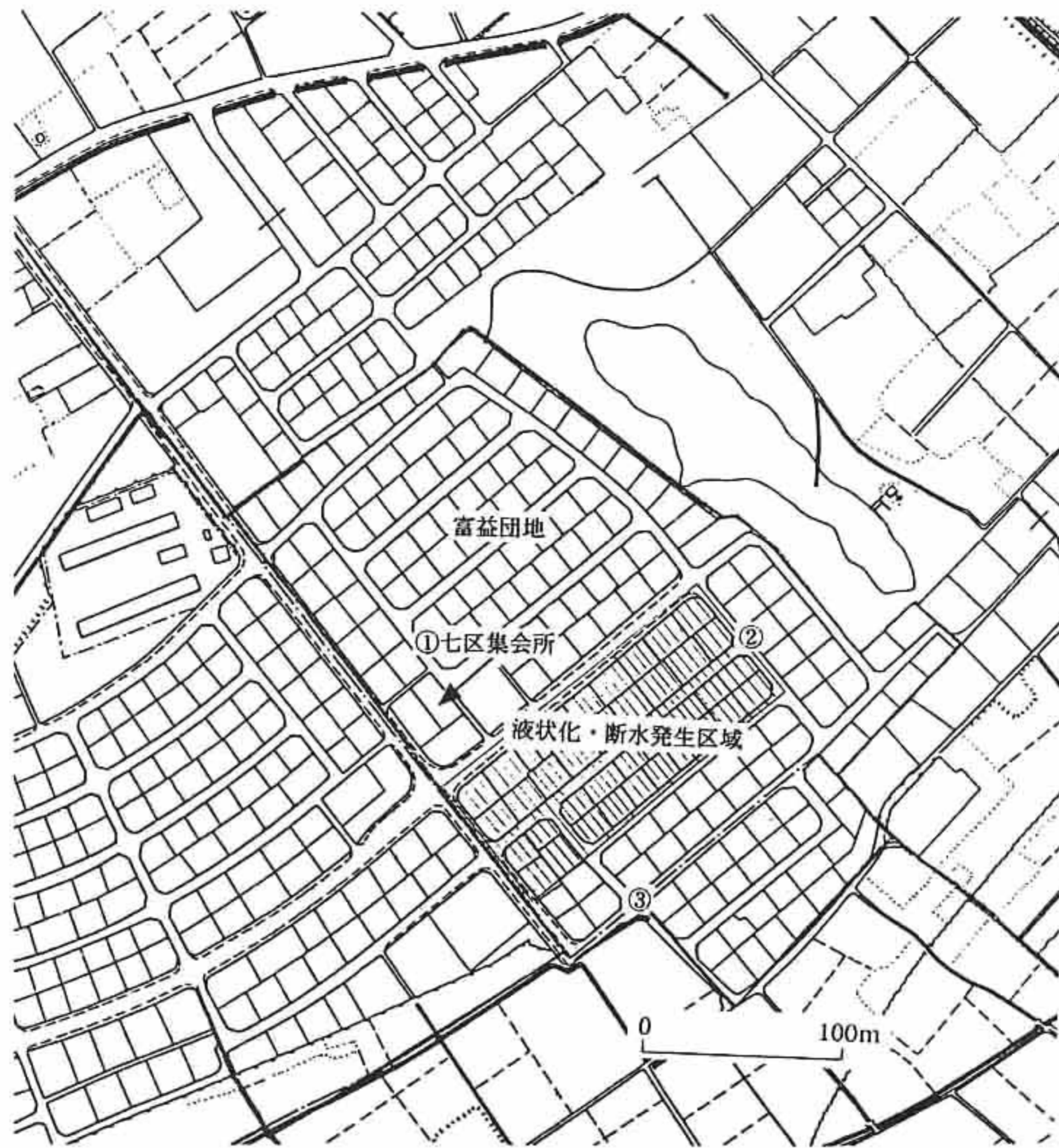


图3.4 富益団地

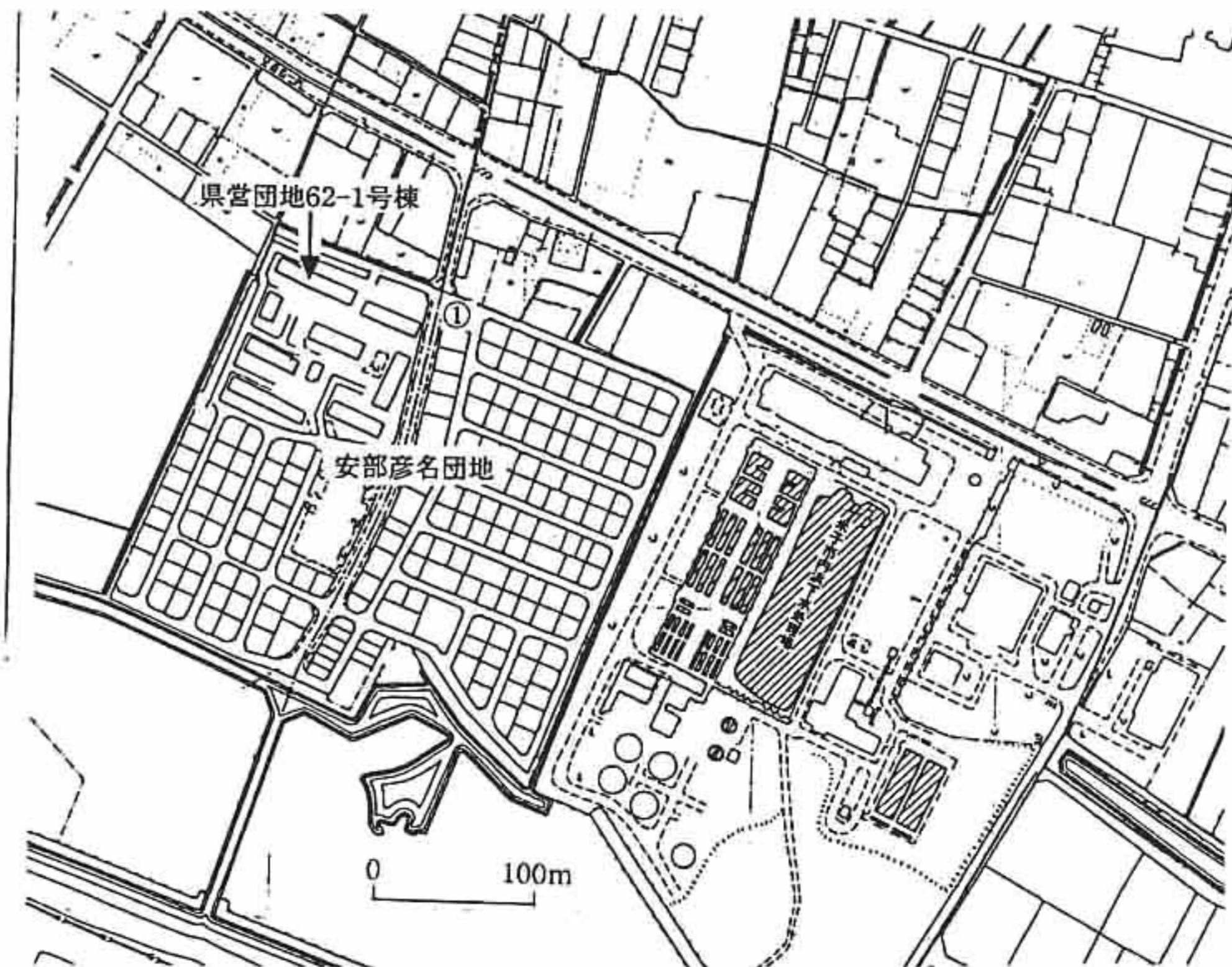


图3.5 安部彦名団地

図中にAで示される滝山水源から1日に1300m³を取水し、Pで示されるポンプ場でポンプアップして配水池（図中Rで表示）に送水している。朝夕のピーク時には諸木水源（図中のB）から送水管③を使用して550m³程度を送水している。配水池から配水幹線④を通過して1200～1500m³が町内へ配水されている。

地震発生直後配水池流量が急増したために、いったん給水を止めて大きく水の噴き出している破損箇所を修理後、当日の夜に送水が再開されたが水は濁っていた。この原因は湧水である滝山水源の水が濁っていたことによる。水源水の濁りの状況は写真3.2に示されるとおりであり、10月19日においても若干濁りが残っているのがわかる。

同町では補助水源として使用されている諸木水源には2800m³の取水能力があり、こちらから平常のように送水管③経由での送水が試みられた。しかし送水ポンプの能力が不足していて十分な水を配水池まで上げることはできなかった。そこで滝山水源池用のポンプ場Pの揚水能力を利用することが考えられた。できるだけ揚程を小さくするために、平地を経由してポンプ場まで送水することとし、50mmポリエチレン管による3系統と、消防ホースによる1系統の地上仮設配管が行われた。これは図中の⑤で示されるが、刈り取りの終わった田などに仮設された全長940mのルートである。

諸木水源池及び仮設配管の様子を写真3.3に示す。上方右の写真は諸木水源池から出ていく3本のポリエチレン管と1本の消防ホースである。下の2枚の写真は田を通る配管を示している。右側の写真の右上方にポンプ場が見えている。

地震発生から4日後の10月10日に仮設配管は完成し、管路内にたまった泥による濁り水の入れ替えに2日を要し、10月13日の朝から完全復旧して飲用が可能となった。それまでの間は表2.5に示されているように、米子市をはじめ鳥取市、倉吉市、広島市、自衛隊、中国地建などによる応急給水が行われた。



写真3.1 竹ノ内工業団地の配水管添架の被災



写真3.2 会見町滝山水源水の濁り

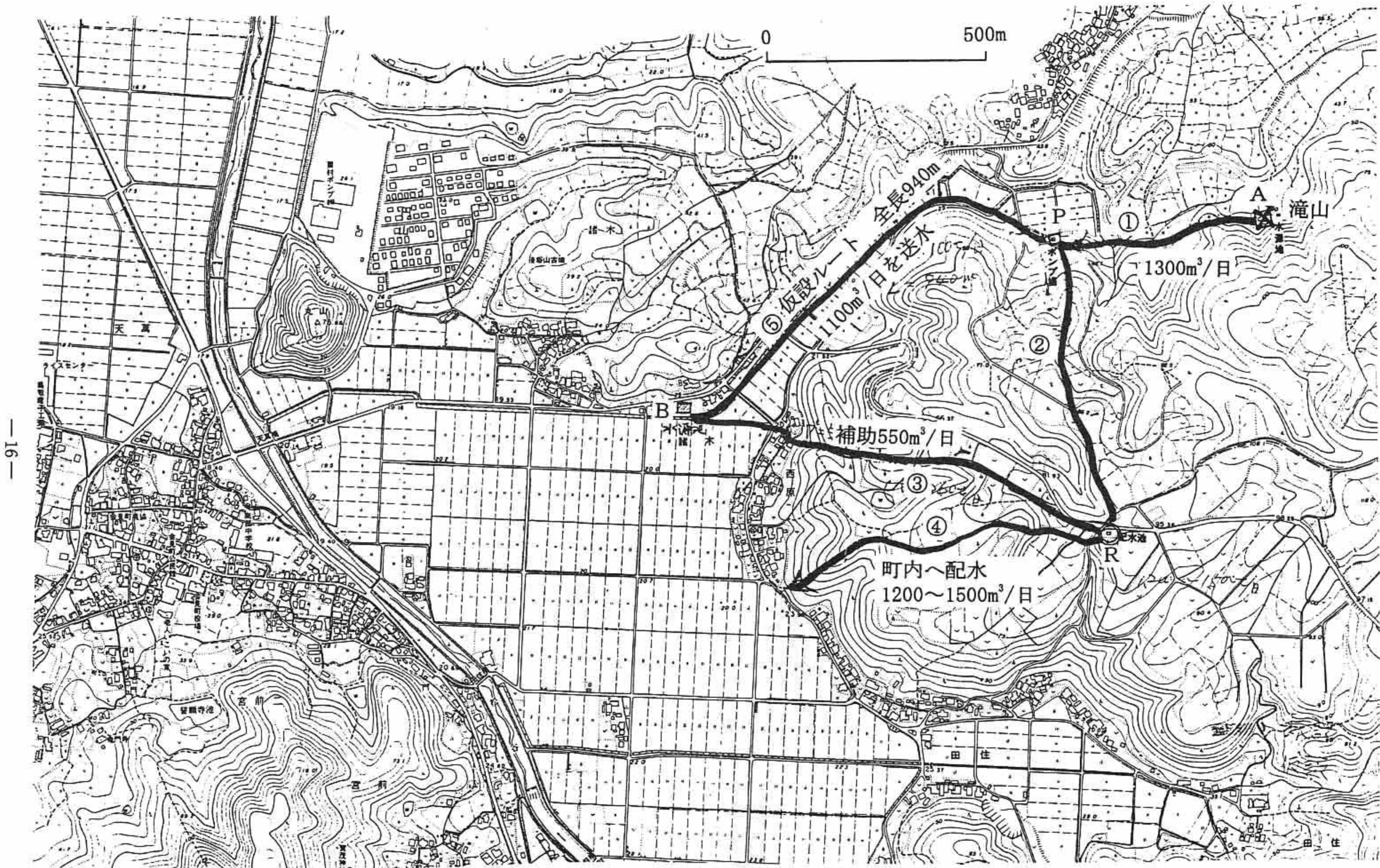


図3.6 会見町の水源の濁り対策



写真3.3 会見町の仮設配管